



一般社団法人日本スーパーマーケット協会

平成30年10月 マンスリー レポート

集計企業数 **55** 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	57,102,411 万円	100.0%	101.6% (103.4%)	55,408,952 万円	100.3% (102.1%)
食 料 品	48,757,414 万円	85.4% (86.2%)	102.4% (103.8%)	47,229,037 万円	100.9% (102.4%)
農 産	7,717,334 万円	13.5% (13.7%)	109.8% (106.6%)	7,478,652 万円	108.3% (105.2%)
水 産	4,323,852 万円	7.6% (7.6%)	102.6% (102.7%)	4,186,497 万円	101.0% (101.3%)
畜 産	6,262,250 万円	11.0% (10.8%)	98.3% (103.5%)	6,058,574 万円	96.8% (101.8%)
惣 菜	5,663,458 万円	9.9% (10.0%)	105.3% (104.6%)	5,463,201 万円	103.3% (102.8%)
日配食品	11,091,937 万円	19.4% (19.7%)	101.2% (103.0%)	10,751,437 万円	99.8% (101.6%)
加工食品	13,698,583 万円	24.0% (24.4%)	100.2% (103.1%)	13,290,676 万円	98.8% (102.0%)
生活関連	3,531,984 万円	6.2% (6.0%)	99.9% (100.6%)	3,463,460 万円	99.5% (100.2%)
衣 料 品	1,687,115 万円	2.9% (2.5%)	94.5% (97.7%)	1,667,188 万円	95.0% (98.2%)
そ の 他	3,125,897 万円	5.5% (5.3%)	96.2% (102.8%)	3,049,267 万円	95.7% (102.2%)

② 数 値

全店総売上高	57,102,411 万円	店 舗 数	4,743 店舗
総売場面積	9,604,564.2 m ²	総従業員数	247,248 人

店舗平均月商	12,039.3 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,869.4 円 (98.5%)
月間m ² 売上(前月)	5.9 万円 (5.9 万円)	平均店舗面積	2,025.0 m ²
月間坪売上(前月)	19.7 万円 (19.5 万円)	パート比率(前月)	76.7% (76.9%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 10月の天候について、月の平均気温は北日本でかなり高く、近畿地方から東の地域では、平均気温の前年差において高かった。一方で沖縄・奄美ではかなり低かった。降水量は東日本と西日本で少なく、北海道地方と沖縄・奄美では多かった
- ・ 生鮮品の相場状況について、青果では野菜と果実がともに高値となった。水産物は、豊洲への市場移転に伴う休市日が多かったことから入荷量がやや減少も、卸売平均価格は前年並みであった。畜産物では和牛が高値で推移した一方、国産の豚肉と鶏肉の「むね肉」が安値で推移した
- ・ 前年と比べ水曜日が1回多く、日曜日が1回少ない曜日廻りとなったため、客単価にマイナスの影響を与えた

《 商品動向 》

・ 農産

- ・ テレビ番組で紹介された放映効果により「舞茸」が好調であった
- ・ 「トマト」「きゅうり」や「はくさい」「にんじん」「だいこん」などは、相場高による単価の上昇により、売上が好調であった
- ・ 「なす」が気象影響による供給不足となり、不調であった
- ・ 国産果実では「みかん」が好調であった一方、「柿」や「りんご」「ぶどう」は好不調が分かれた
- ・ 輸入果実では「キウイフルーツ」が好調であった

・ 水産

- ・ 旬の「サンマ」や「秋鮭」が前年不調の反動もあり好調であった
- ・ 「かつお」や「海藻類」が好調であった

・ 畜産

- ・ 畜産の既存店売上高が2ヶ月ぶりに前年同月比を下回った
- ・ 牛肉は輸入牛が好調であった
- ・ 豚肉や鶏もも肉が、気温環境による鍋物商材の不振や、相場安による単価の下落により不調であった
- ・ ハムやソーセージなどの加工肉が不調であった

・ 惣菜

- ・ 「カキ」や「サンマ」など秋の味覚を使用した惣菜・米飯類が好調であった
- ・ 「ポテトサラダ」や「サラダ」が前年不調の反動もあり好調であった

- ・ 日配・加工食品

- ・ 日配・加工食品の既存店売上高が5ヶ月ぶりに前年同月比を下回った
- ・ テレビ番組で紹介された放映効果により、「梅干し」や「キムチ」などの「漬物」、「納豆」や「さば缶」が好調であった
- ・ 気温環境により、「豆腐」「練製品」「こんにゃく」「鍋つゆ」などの鍋商材や、「コーヒー」など嗜好品が不調であった一方、「飲料」や「アイス」が好調であった
- ・ 北海道で発生した地震の影響により安定供給が出来なかった「牛乳」が不調であった
- ・ 野菜相場高の影響により「マヨネーズ」や「ドレッシング」が不調であった

- ・ ハロウインの動向について

- ・ ハロウインに関連した「お菓子」が好調であったほか、「かぼちゃ」も好調であった
- ・ ハロウインにちなんだパーティーメニューの取り組みも成果をあげているとのコメントがみられた

- ・ 値上げ後のたばこの動向について

- ・ 前月の駆け込み需要の反動により、売上高前年比80%台のコメントがみられた

以 上